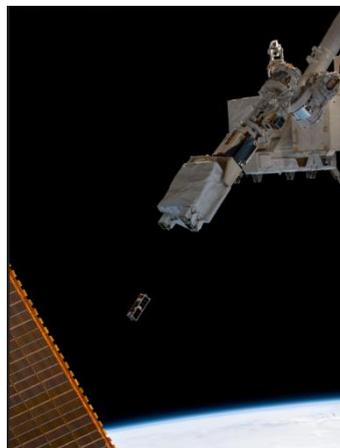


Space BD

ISS を活用し超小型衛星 OPTIMAL-1 の軌道投入を完了

アークエッジ・スペース社含む計6組織の軌道上実証を支援



「きぼう」の小型衛星放出機構（J-SSOD）の取付け作業時の様子（左）衛星放出時の様子（右）提供：JAXA/NASA

宇宙産業における総合的なサービスを展開する Space BD 株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:永崎将利)は、2023年1月6日(金)18時00分(日本標準時)に、株式会社アークエッジ・スペース(東京)・株式会社Pale Blue(千葉)・セーレン株式会社(福井)・国立大学法人福井大学(福井)・国立大学法人東京大学大学院工学系研究科(東京)・三菱電機株式会社(東京)が開発し、Space BDが打上げに関する全てのサポートを提供した超小型衛星「OPTIMAL-1」の、国際宇宙ステーション(ISS)「きぼう」日本実験棟から宇宙空間への放出が完了したことをお知らせします。

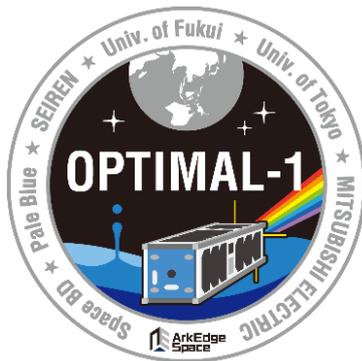
「OPTIMAL-1」は、2022年11月27日にNASA 26th Commercial Resupply Service mission (CRS-26)の一部としてSpaceX社クルードラゴン補給船に搭載されフロリダ州のケネディ宇宙センターからISSへ打ち上げられました。

1月6日の放出準備作業は、現在ISS滞在中の若田光一宇宙飛行士により実施されました。OPTIMAL-1は既に地上局との通信に成功し、今後は、超小型推進系・通信装置及び軌道上高度情報処理技術などの各種実証実験を予定しています。

■ OPTIMAL-1 について

OPTIMAL-1は、アークエッジ・スペース社が2018年に軌道上実証した3U汎用バスの機能をさらに高めるための改良とその実証を行うとともに、(1)超小型「水」推進機、(2)エッジコンピューティング、(3)超小型ハイパースペクトルカメラ、(4)Store and Forward LoRa 微弱電力通信等の技術実証をメインミッションとしたマルチミッション衛星です。

今後、世界の森林管理、農業、防災、物流、通信等に貢献することが期待されています。



<本件に関するお問い合わせ>

Space BD 株式会社 広報(原・飯塚)

Mail: pr@space-bd.com Tel: 03-6264-7177 FAX:03-6264-7178

■ Space BD 事業開発 シニアエンジニア 水野 哲朗のコメント

このたび、ISS から OPTIMAL-1 の放出が無事成功したことを心から嬉しく思います。有人実験施設である ISS から人工衛星を放出する際、推進系システムを搭載した衛星に関しては宇宙飛行士の安全確保などの理由から、NASA による審査がより厳しいものとなります。その中で衛星開発者様とプロジェクト一丸となって課題を一つずつ着実にクリアし、無事放出の日を迎えられた事を光栄に存じます。これからは衛星運用の本番ですのでまずはその成功を心よりご祈念するとともに、今後とも国内外を問わずさまざまな衛星開発プロジェクトに対し最適なお支援を提供して参ります。

■ Space BD 株式会社について

Space BD は、日本の宇宙ビジネスを、世界を代表する産業に発展させることを目指す「宇宙商社®」です。2017 年の創業以来、宇宙への豊富な輸送手段の提供とともに国際宇宙ステーション(ISS)を初めとする宇宙空間の利活用において、ビジネスプランの検討からエンジニアリング部門による技術的な運用支援までをワンストップで提供しています。技術力に立脚した営業力・事業開発力を礎に、多様なキャリアバックグラウンドを持ったメンバーが、宇宙を活用した官民の事業化支援・事業変革、教育分野などに事業を展開しています。

2023 年 1 月現在、衛星取扱い件数 約 60 件を含め、約 300 件以上の宇宙空間への輸送実績を重ねています。

社 名：Space BD 株式会社

本 社：東京都中央区日本橋室町二丁目 1 番 1 号 日本橋三井タワー7 階

代 表 者：代表取締役社長 永崎将利

設 立：2017 年 9 月 1 日

事業内容：宇宙における各種サービス事業・教育事業

U R L：<https://space-bd.com/>